

# ◆ 会津坂下町商工会 ◆

# 企業景況調査

平成 29 年 10 月～12 月期

## 目 次

今期の特徴点	1
製造業	2
小売業	5
建設業	8
サービス業	11
農業	14
参考資料	17
中小企業景況調査 転記表	18

会津坂下町商工会

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

# 今期の特徴点（平成29年10月～12月期）

## 製造業

業況は好調感が大きく弱まった。売上（加工）額、採算（経常利益）はともに増加から減少へ極端に転じ、受注残は増加がかなり弱まった。原材料仕入単価は前期並の上昇が続き、売上（加工）単価は上昇が大きく強まった。原材料在庫数量は過剰感がかなり強まった。資金繰りは大きく容易さが増した。

## 小売業

業況は大きく改善した。売上額、採算（経常利益）はともにやや減少が弱まった。客単価は大きく下降が強まり、商品仕入単価は特に大きく上昇が強まった。商品在庫数量は不足感が極端に弱まった。資金繰りは窮屈感が大きく緩和した。

## 建設業

業況は前期並の低調感が続いた。完成（請負工事）額、採算（経常利益）はともに大きく減少が強まり、契約残（未消化工事高）は大きく持ち直した。受注（新規契約工事）額は極端に下降が強まり、材料仕入単価は極端に上昇が強まった。資金繰りは容易さがかなり増した。

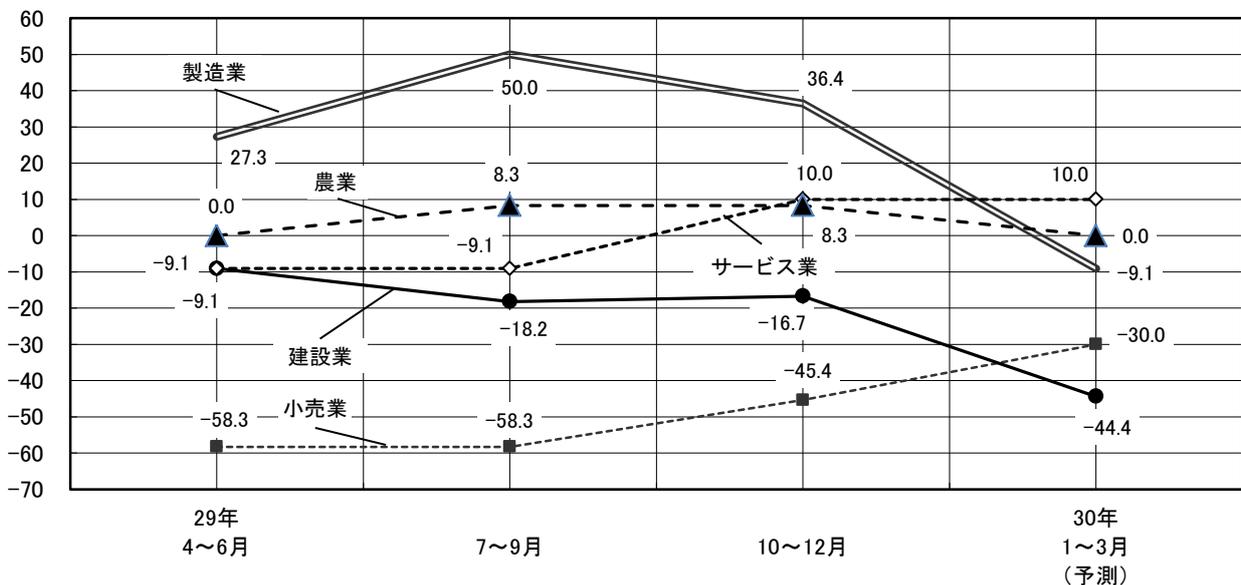
## サービス業

業況は大きく好転した。売上（収入）額は極端に減少が弱まり、採算（経常利益）は前期並の減少が続いた。客単価は上昇が大きく弱まり、仕入単価（材料等）は極端に上昇が強まった。資金繰りは前期並の容易さが続いた。

## 農業

業況は前期並の好調感が続いた。売上額は増加幅が大きく拡大し、採算（経常利益）は前期並の増加幅が続いた。売上単価は上昇が極端に強まり、原材料仕入単価は上昇がかなり強まった。資金繰りは容易な状況に大きく転じた。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



# 製造業

## 売上額・利益の動向と業況判断

業況（50→36）は好調感が大きく弱まった。売上（加工）額（27→△18）、採算（経常利益）（18→△9）はともに増加から減少へ極端に転じ、受注残（25→18）は増加がかなり弱まった。

## 価格・在庫動向

原材料仕入単価（40→40）は前期並の上昇が続き、売上（加工）単価（0→9）は上昇が大きく強まった。原材料在庫数量（20→30）は過剰感がかなり強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り（0→9）は大きく容易さが増した。また、借入難度は、長期資金借入難度（△17→25）は極端に容易な状況に転じ、短期資金借入難度（0→25）は容易さが特に大きく増した。

## 経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「原材料価格の上昇」「従業員の確保難」「製品ニーズの変化への対応」「需要の停滞」がいずれも40.0%、2位「人件費の増加」「生産設備の不足・老朽化」「原材料費・人件費以外の経費の増加」「製品（加工）単価の低下・上昇難」がいずれも30.0%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合（対象企業が最重要視している割合）をみると、「原材料価格の上昇」「従業員の確保難」「人件費の増加」がいずれも20.0%で最も高く、これに次いで「製品ニーズの変化への対応」「生産設備の不足・老朽化」「原材料費・人件費以外の経費の増加」「その他」がいずれも10.0%で比較的高い割合となった。

## 来期の見通し

来期は、業況は極端に悪化に転じ、売上（加工）額は減少が大きく弱まり、採算（経常利益）は極端に低迷すると見込まれている。原材料仕入単価、売上（加工）単価はともに今期同様の上昇が続くと予測されている。

### 《注》

◆製造業各DI値の今期の状況は下記を参照している。

業況DI、売上（加工）額DI、採算（経常利益）DI、受注残DI、  
原材料仕入単価DI、売上（加工）単価DI、原材料在庫数量DI、資金繰りDI

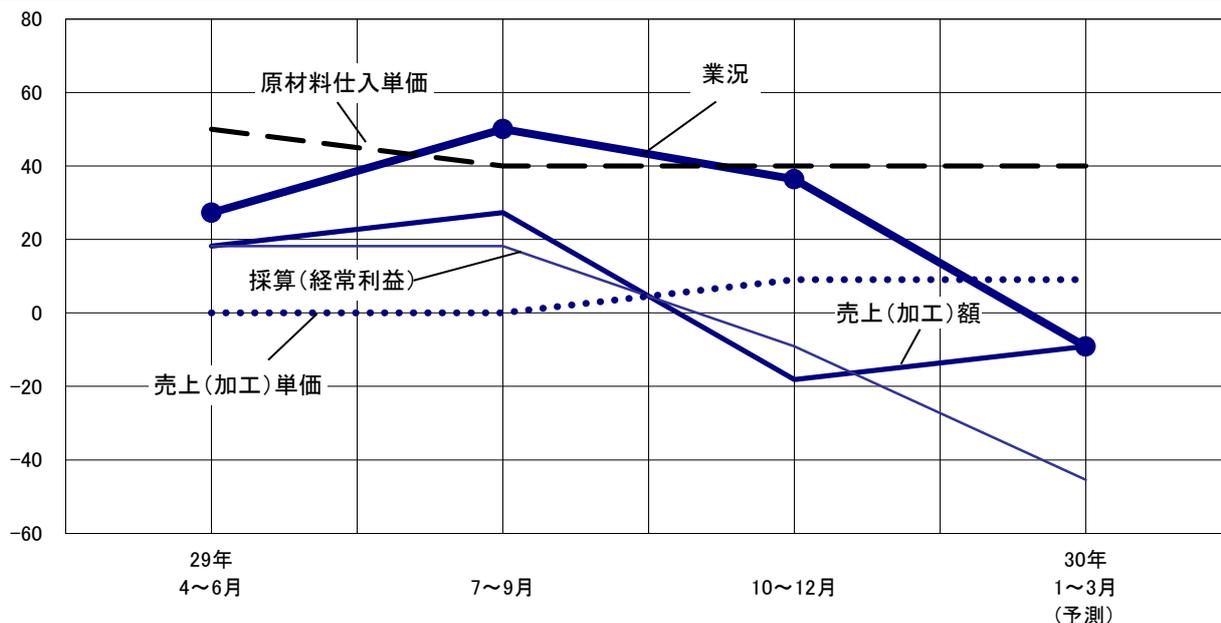
：前年同期比

借入難度DI（長期資金借入難度、短期資金借入難度）

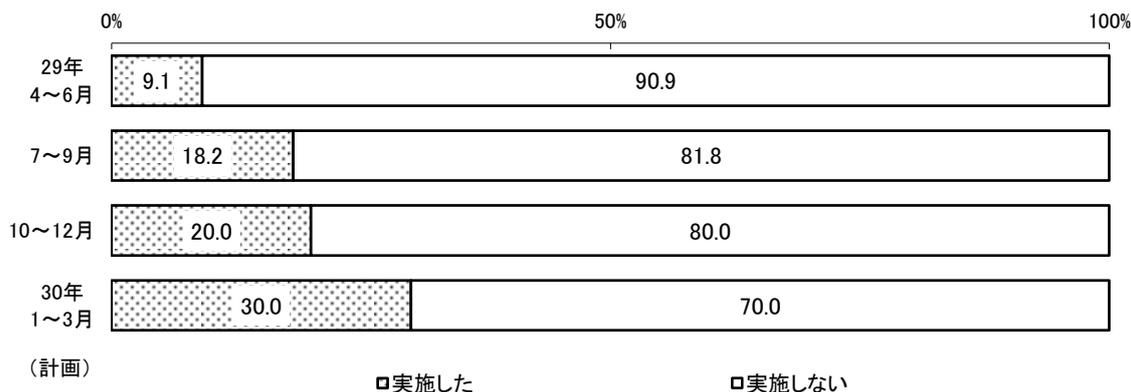
：前期比

◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種DIを比較している。

## 業況と売上（加工）額、採算（経常利益）、売上（加工）単価、原材料仕入単価の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向（％）



## 経営上の問題点（％）

順位	29年4～6月期	全体	うち最も重要視している割合	29年7～9月期			29年10～12月期		
				全体	うち最も重要視している割合	全体	うち最も重要視している割合	全体	うち最も重要視している割合
第1位	製品ニーズの変化への対応	45.5 %	27.3 %	製品ニーズの変化への対応	36.4 %	20.0 %	原材料価格の上昇	40.0 %	20.0 %
	生産設備の不足・老朽化	45.5 %	18.2 %	生産設備の不足・老朽化	36.4 %	20.0 %	従業員の確保難	40.0 %	20.0 %
	製品(加工)単価の低下・上昇難	45.5 %	18.2 %	原材料価格の上昇	36.4 %	20.0 %	製品ニーズの変化への対応	40.0 %	10.0 %
	原材料価格の上昇	45.5 %	0.0 %	原材料費・人件費以外の経費の増加	36.4 %	10.0 %	需要の停滞	40.0 %	0.0 %
第2位	人件費の増加	18.2 %	18.2 %	人件費の増加	27.3 %	10.0 %	人件費の増加	30.0 %	20.0 %
	需要の停滞	18.2 %	9.1 %				生産設備の不足・老朽化	30.0 %	10.0 %
	原材料費・人件費以外の経費の増加	18.2 %	0.0 %				原材料費・人件費以外の経費の増加	30.0 %	10.0 %
	従業員の確保難	18.2 %	0.0 %				製品(加工)単価の低下・上昇難	30.0 %	0.0 %
第3位	原材料の不足	9.1 %	9.1 %	その他	18.2 %	0.0 %	その他	10.0 %	10.0 %
第4位				需要の停滞	9.1 %	10.0 %			
第5位									

## コメント《製造業》

1. さまざまな法律の増加により、製造コストが上昇悪化。国は強制して義務化をさせる場合はそれに見合った補助を出すべき。
2. 客先の在庫調整により生産ダウン。在庫調整の間、辛抱か攻めるか考え中。
3. 設備投資した為、受注も増加している。やはり、設備の老朽化を改善しないと受注増加（コスト増）は見込めない。
4. 今期は好転しているが来期は単価の低下、製品加工の複雑もあり売上の減少を予測している。
5. 総売上だけで見ると大きな変動が無いように見えるが、社内部門別に見ると業績の良し悪しに大きく差がある。つまり業種によって景気の動向に差があるため、全体的に景気が良いとは言えず、販路拡大が難しいとも言える。
6. メーカーが年々減少している為、一極集中的に注文が集まる。その為、納期、材料の供給が間に合わない場合が多々ある。

# 小 売 業

## 売上・収益の動向と業況判断

業況(△58→△45)は大きく改善した。売上額(△58→△55)、採算(経常利益)(△50→△45)はともにやや減少が弱まった。

## 価格・在庫動向

客単価(△50→△64)は大きく下降が強まり、商品仕入単価(25→45)は特に大きく上昇が強まった。商品在庫数量(△42→△18)は不足感が極端に弱まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(△50→△36)は窮屈感が大きく緩和した。また、借入難度は、長期資金借入難度(△27→△46)は大きく厳しさが強まり、短期資金借入難度(△33→△30)はやや厳しさが和らいだ。

## 経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「購買力の他地域への流出」が63.6%、2位「大型店・中型店の進出による競争の激化」「消費者ニーズの変化への対応」がともに45.5%、3位「需要の停滞」が36.4%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合(対象企業が最重要視している割合)をみると、全体2位の「大型店・中型店の進出による競争の激化」が27.3%と最も高く、次いで同1位の「購買力の他地域への流出」、同3位の「需要の停滞」、同4位の「販売単価の低下・上昇難」がいずれも18.2%となった。

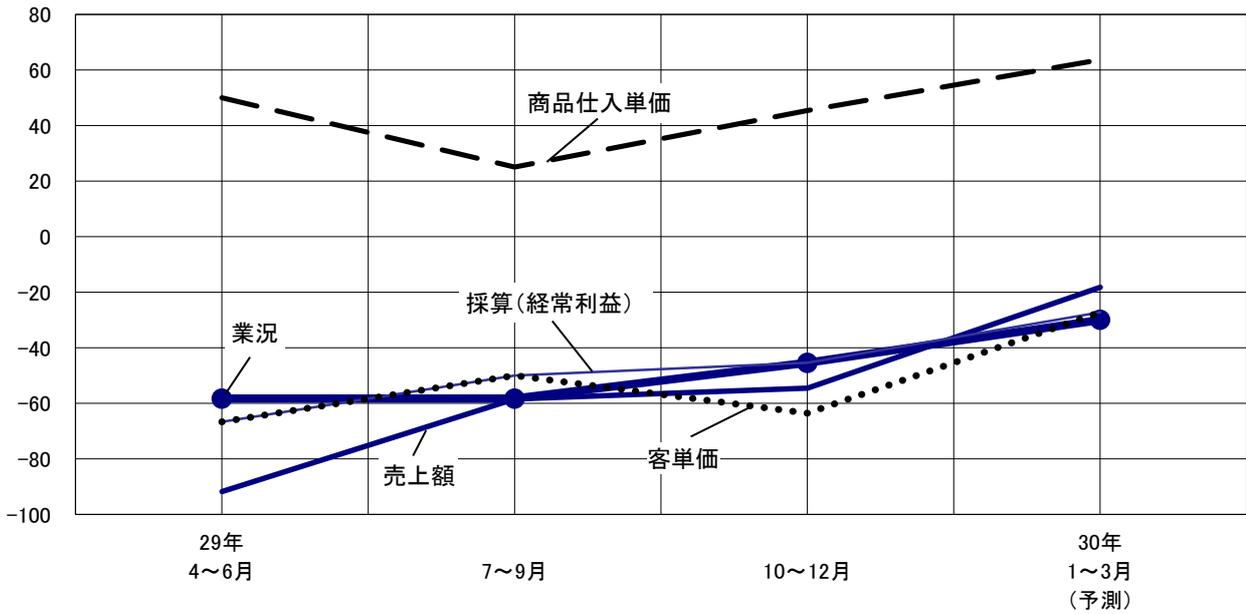
## 来期の見通し

来期は、業況は大幅に改善し、売上額は特に大きく減少を弱め、採算(経常利益)は大きく持ち直す見込まれている。客単価は下降幅が極端に縮小し、商品仕入単価は上昇が大きく強まると予測されている。

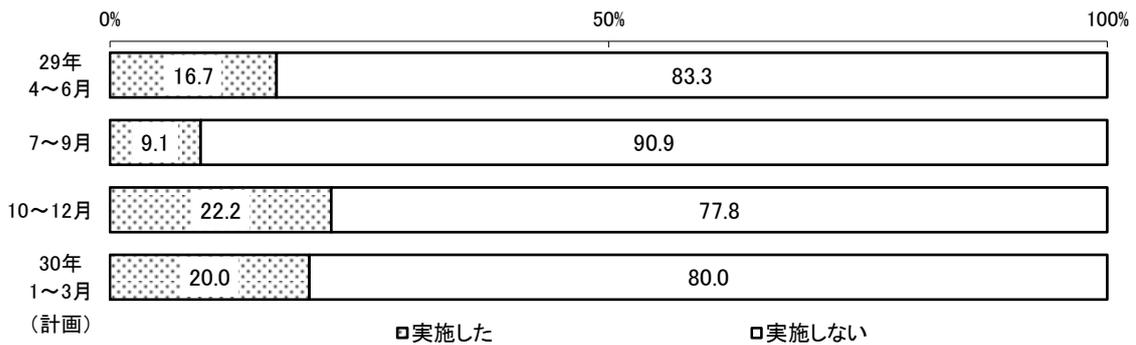
### 《注》

- ◆小売業各D I 値の今期の状況は下記を参照している。  
業況D I、売上額D I、採算(経常利益)D I、  
商品仕入単価D I、客単価D I、商品在庫数量D I、資金繰りD I  
：前年同期比  
借入難度D I(長期資金借入難度、短期資金借入難度)  
：前期比
- ◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種D I を比較している。

## 業況と売上額、採算（経常利益）、客単価、商品仕入単価の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向 (%)



## 経営上の問題点 (%)

順位	問題点	29年4~6月期		29年7~9月期		29年10~12月期			
		全体 (%)	うち最も重要視している割合 (%)	全体 (%)	うち最も重要視している割合 (%)	全体 (%)	うち最も重要視している割合 (%)		
第1位	購買力の他地域への流出	41.7 %	25.0 %	大型店・中型店の進出による競争の激化 購買力の他地域への流出 消費者ニーズの変化への対応	54.5 % 25.0 % 0.0 %	購買力の他地域への流出	63.6 %	18.2 %	
	大型店・中型店の進出による競争の激化	33.3 %	25.0 %	仕入単価の上昇	36.4 %	25.0 %	大型店・中型店の進出による競争の激化	45.5 %	27.3 %
	需要の停滞	33.3 %	16.7 %				消費者ニーズの変化への対応	45.5 %	9.1 %
仕入単価の上昇	33.3 %	8.3 %							
第2位	販売単価の低下・上昇難	33.3 %	0.0 %						
第3位	店舗の狭隘・老朽化	25.0 %	0.0 %	販売単価の低下・上昇難	27.3 %	8.3 %	需要の停滞	36.4 %	18.2 %
第4位	従業員の確保難	16.7 %	8.3 %	事業資金の借入難	18.2 %	8.3 %	販売単価の低下・上昇難	18.2 %	18.2 %
	人件費の増加	16.7 %	0.0 %	従業員の確保難	18.2 %	8.3 %	仕入単価の上昇	18.2 %	0.0 %
	消費者ニーズの変化への対応	16.7 %	0.0 %	店舗の狭隘・老朽化	18.2 %	0.0 %	店舗の狭隘・老朽化	18.2 %	0.0 %
第5位	商品在庫の過剰	8.3 %	8.3 %	需要の停滞	18.2 %	0.0 %			
	同業店の進出	8.3 %	0.0 %	その他	9.1 %	0.0 %	事業資金の借入難	9.1 %	9.1 %
	人件費以外の経費の増加	8.3 %	0.0 %				商品在庫の過剰	9.1 %	0.0 %
	事業資金の借入難	8.3 %	0.0 %				人件費の増加	9.1 %	0.0 %
						従業員の確保難	9.1 %	0.0 %	
						その他	9.1 %	0.0 %	

## コメント《小売業》

1. 人口の減少が進み、その結果、国の出先機関の保健所、法務局、営林署が無くなり、町に集まる力が無くなっている。更に 49 号線や南幹線があり、通勤等に便利であるが、中心街に入る必要性が無くなっている。
2. 原発以来、他県からの年釣券の申し込みが激減しているが、それでも連休などには他県からの里帰りが見られ、地元を訪れる方はゆるやかに戻ってきているように思う。ただ、ネット通販などの利用は増加しているようである。
3. 少子化、若者の流出による人口減少、高齢者の増加に伴う消費量の減少。
4. 客の年齢が高くなり、来店できなくなってきたので売上減少。品物の値上げで買い控えが増えているのではないかと懸念されている。

# 建設業

## 売上・収益の動向と業況判断

業況(△18→△17)は前期並の低調感が続いた。完成(請負工事)額(△8→△18)、採算(経常利益)(△8→△25)はともに大きく減少が強まった。契約残(未消化工事高)(△30→△18)は大きく持ち直した。

## 価格動向

受注(新規契約工事)額(△17→△55)は極端に下降が強まり、材料仕入単価(42→75)は極端に上昇が強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(9→18)は容易さがかなり増した。また、借入難度は、長期資金借入難度(0→20)は容易さが極端に増し、短期資金借入難度(0→13)は容易さが大きく増した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「従業員の確保難」が54.5%、2位「官公需要の停滞」が45.5%、3位「民間需要の停滞」「熟練技術者の確保難」がともに同率の36.4%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合(対象企業が最重要視している割合)をみると、全体2位の「官公需要の停滞」が27.3%で最も高く、次いで同3位の「民間需要の停滞」が18.2%と比較的高い割合となっている。

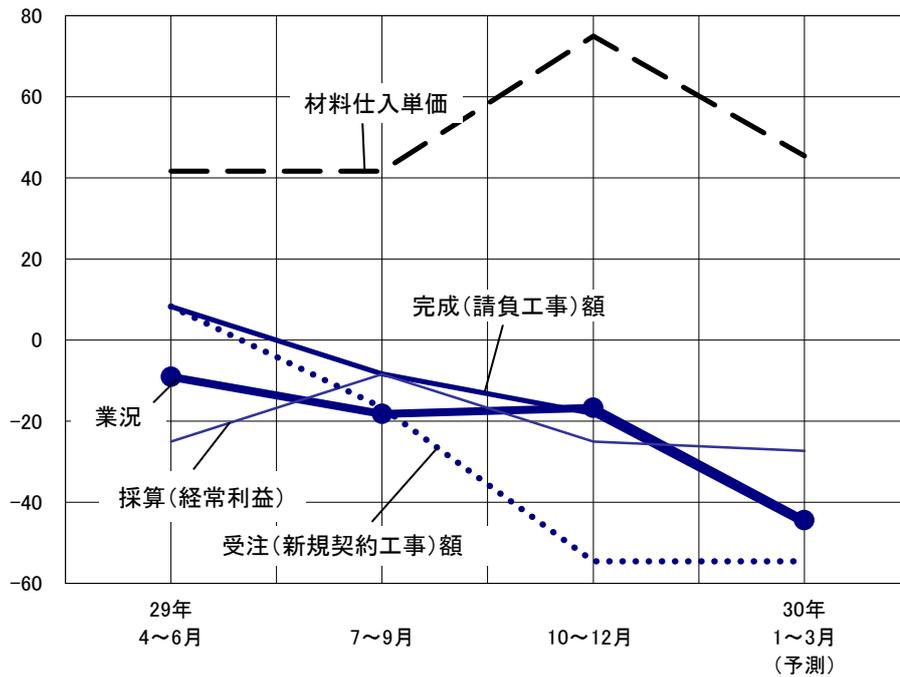
## 来期の見通し

来期は、業況は極端に悪化が強まり、完成(請負工事)額は極端に低迷し、採算(経常利益)は減少がやや強まると見込まれている。受注(新規契約工事)額は今期並の下降が続き、材料仕入単価は上昇が極端に弱まると予測されている。

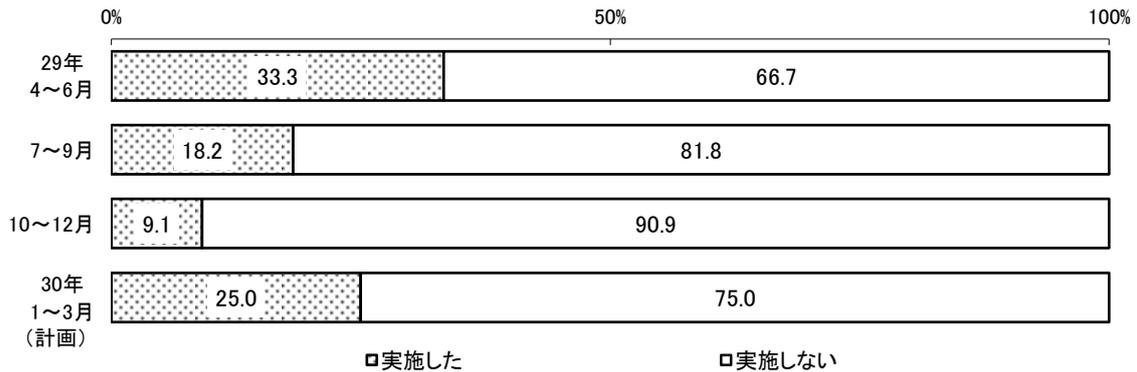
### 《注》

- ◆建設業各D I 値の今期の状況は下記を参照している。  
業況D I、完成(請負工事)額D I、採算(経常利益)D I、  
契約残(未消化工事高)D I、受注(新規契約工事)額D I、材料仕入単価D I、  
資金繰りD I  
：前年同期比  
借入難度D I(長期資金借入難度、短期資金借入難度)  
：前期比
- ◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種D I を比較している。

## 業況と完成（請負工事）額、採算（経常利益）、受注（新規契約工事）額、材料仕入単価の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向（%）



## 経営上の問題点（%）

順位	問題点	29年4~6月期		29年7~9月期		29年10~12月期			
		全体	うち最も重要視している割合	全体	うち最も重要視している割合	全体	うち最も重要視している割合		
第1位	従業員の確保難	63.6 %	18.2 %	80.0 %	30.0 %	54.5 %	9.1 %		
第2位	官公需要の停滞	36.4 %	36.4 %	熟練技術者の確保難	50.0 %	0.0 %	45.5 %	27.3 %	
	熟練技術者の確保難	36.4 %	0.0 %						
第3位	請負単価の低下・上昇難	27.3 %	18.2 %	官公需要の停滞	40.0 %	30.0 %	36.4 %	18.2 %	
	下請業者の確保難	27.3 %	0.0 %				熟練技術者の確保難	36.4 %	9.1 %
第4位	材料費・人件費以外の経費の増加	18.2 %	9.1 %	請負単価の低下・上昇難	30.0 %	20.0 %	27.3 %	9.1 %	
	材料価格の上昇	18.2 %	0.0 %						
第5位	大企業の進出による競争の激化	9.1 %	9.1 %	下請業者の確保難	20.0 %	0.0 %	18.2 %	9.1 %	
	下請単価の上昇	9.1 %	9.1 %				下請業者の確保難	18.2 %	9.1 %
	取引条件の悪化	9.1 %	0.0 %				下請単価の上昇	18.2 %	0.0 %
	民間需要の停滞	9.1 %	0.0 %						

## コメント《建設業》

1. 町発注の公共工事の減少により業況が不安であり、従業員の不足により受注高が減少している。今後、公共工事の増加に期待したいが、先行きに不安が残る。
2. 引合いはあるが、取り決め条件の厳しさや採算性の悪さが問題点として出てきた。
3. 経費削減により対応している。
4. 若手の人材が少ない。
5. 復興関連事業工事も会津では終わりつつある。以前と比べて工事件数が減ってきているのが感じられる。そのため、元請からの請負金額も今後増えることはないと考えている。

# サービス業

## 売上・収益の動向と業況判断

今期の業況(△9→10)は大きく好転した。売上(収入)額(△50→△20)は極端に減少が弱まり、採算(経常利益)(△10→△10)は前期並の減少が続いた。

## 価格動向

客単価(10→0)は上昇が大きく弱まり、仕入単価(材料等)(40→80)は極端に上昇が強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り(10→10)は前期並の容易さが続いた。借入難度は、長期資金借入難度(10→0)、短期資金借入難度(11→0)ともに大きく容易さが縮小した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「材料等仕入単価の上昇」「店舗の狭隘・老朽化」がともに同率の55.6%、2位「利用者ニーズの変化への対応」「従業員の確保難」が同率の44.4%、3位「熟練従業員の確保難」「人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」が同率の22.2%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合(対象企業が最重要視している割合)をみると、全体1位の「材料等仕入単価の上昇」、同2位の「利用者ニーズの変化への対応」が、ともに同率の25.0%で最も高くなっている。

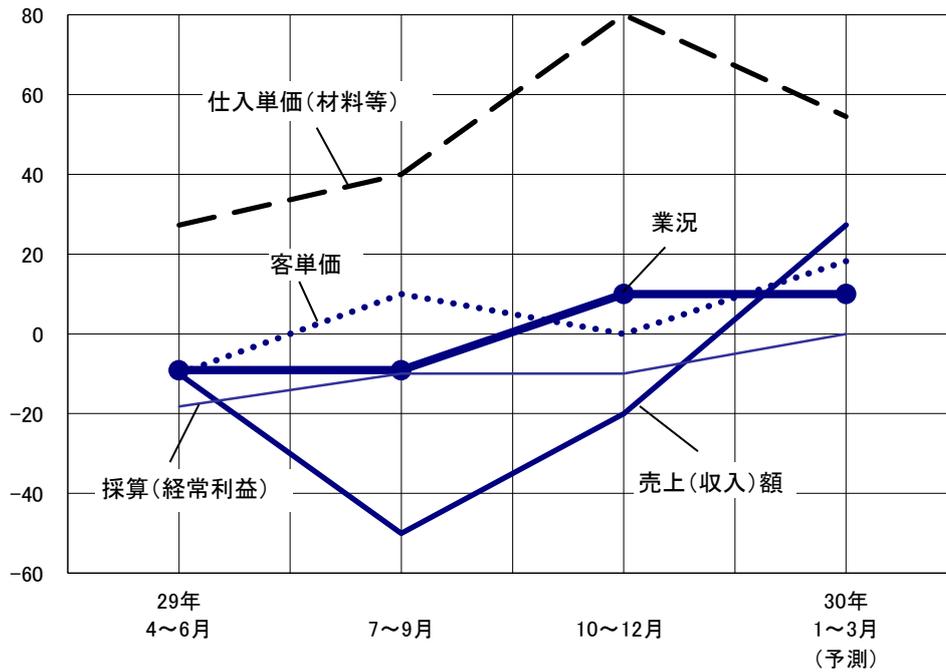
## 来期の見通し

来期は、業況は今期並の好調感が続き、売上(収入)額は極端に増加に転じ、採算(経常利益)は大きく持ち直すと予測されている。客単価は上昇が大きく強まり、仕入単価(材料等)は上昇が極端に弱まると見込まれる。

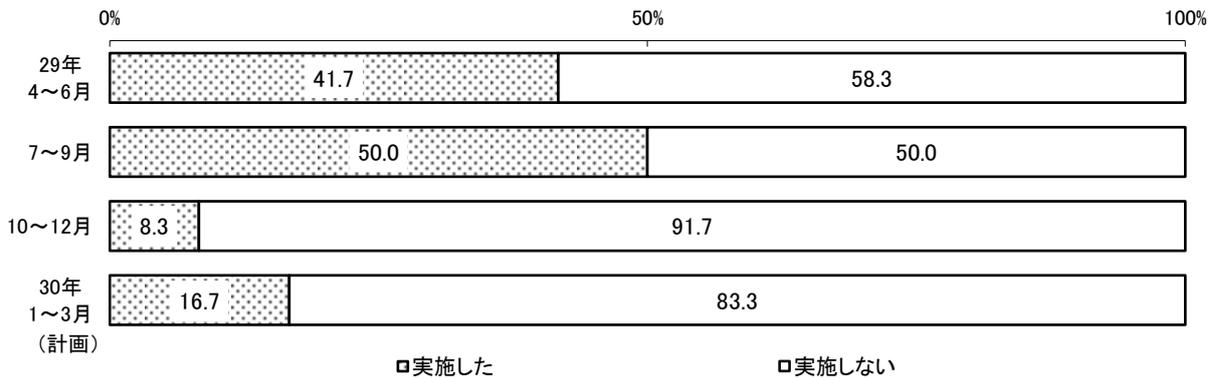
### 《注》

- ◆サービス業各D I 値の今期の状況は下記を参照している。  
業況D I、売上(収入)額D I、採算(経常利益)D I、  
客単価D I、仕入単価D I、資金繰りD I  
：前年同期比  
借入難度D I(長期資金借入難度、短期資金借入難度)  
：前期比
- ◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種D I を比較している。

## 業況と売上（収入）額、採算（経常利益）、客単価、仕入価格（材料等）の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向（％）



## 経営上の問題点（％）

順位	問題点	29年4~6月期			29年7~9月期			29年10~12月期		
		全体	うち最も重要視している割合		全体	うち最も重要視している割合		全体	うち最も重要視している割合	
第1位	従業員の確保難	55.6 %	11.1 %	従業員の確保難	55.6 %	22.2 %	材料等仕入単価の上昇	55.6 %	25.0 %	
							店舗の狭隘・老朽化	55.6 %	12.5 %	
第2位	利用者ニーズの変化への対応 店舗の狭隘・老朽化	44.4 %	22.2 %	材料等仕入単価の上昇	44.4 %	33.3 %	利用者ニーズの変化への対応	44.4 %	25.0 %	
		44.4 %	22.2 %	利用者ニーズの変化への対応	44.4 %	11.1 %	従業員の確保難	44.4 %	12.5 %	
		44.4 %	22.2 %	店舗の狭隘・老朽化	44.4 %	11.1 %				
第3位	人件費の増加 熟練従業員の確保難 材料等仕入単価の上昇	22.2 %	22.2 %	熟練従業員の確保難	22.2 %	11.1 %	熟練従業員の確保難	22.2 %	12.5 %	
		22.2 %	22.2 %	需要の停滞	22.2 %	11.1 %	人件費以外の経費の増加	22.2 %	0.0 %	
		22.2 %	0.0 %				需要の停滞	22.2 %	0.0 %	
第4位	新規参入業者の増加 需要の停滞	11.1 %	0.0 %	新規参入業者の増加	11.1 %	0.0 %	大企業の進出による競争の激化	11.1 %	12.5 %	
		11.1 %	0.0 %	人件費の増加	11.1 %	0.0 %	新規参入業者の増加	11.1 %	0.0 %	
第5位										

## コメント《サービス業》

1. 利用客の高齢化で客単価が低下し、売上額が増えない。材料等仕入単価が上昇しているが、上昇分を客単価に転化できない。新規参入業者があり、客数が減り、売上額に影響することが懸念される。
2. 主要品目の仕入単価が上昇したため、春期に全般的な価格見直しを計った。実質夏期の売上は上昇したものの客足は全月前年度を下回った。まずは、客数増を目標とし販促に努めたい。
3. オープンから3年が経ち、安定したお客様の確保ができていることと、新規客の増加が見えるので今後の売上が伸びて行けるような気がする。新店や他店のスタッフ増員もあるので自店の強みを強化し結果につなげたい。
4. 不変ではあるが、この先従業員が退職したり事業のやり方を変えていかなければならないが、うまくいくかどうかかわからず不安である。
5. 海産物が質の良いものが市場に入っていないようで、仕入が大変な時があり値段も高い。パートの確保が大変。今までの客層が変わりつつある今、料理サービス内容が不安である。
6. 夜の部での売上が安定しない為に中々売上の伸びがない。夜の部の集客に力を入れていく。

# 農 業

## 売上・収益の動向と業況判断

業況（8→8）は前期並の好調感が続いた。売上額（8→17）は増加幅が大きく拡大し、採算（経常利益）（8→8）は前期並の増加幅が続いた。

## 価格動向

売上単価（25→50）は上昇が極端に強まり、原材料仕入単価（17→33）は上昇がかなり強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰り（△8→8）は容易な状況に大きく転じた。借入難度は、長期資金借入難度（0→△27）、短期資金借入難度（0→△20）ともに極端に厳しさが強まった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「消費者ニーズの変化への対応」「生産設備の不足・老朽化」「人件費の増加」がいずれも同率の50.0%、2位「その他」が40.0%、3位「原材料価格の上昇」「原材料費、人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」がいずれも同率の20.0%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合（対象企業が最重要視している割合）をみると、全体1位の「消費者ニーズの変化への対応」「生産設備の不足・老朽化」、同2位の「その他」、同3位の「原材料価格の上昇」がいずれも同率の20.0%と割合が高い。

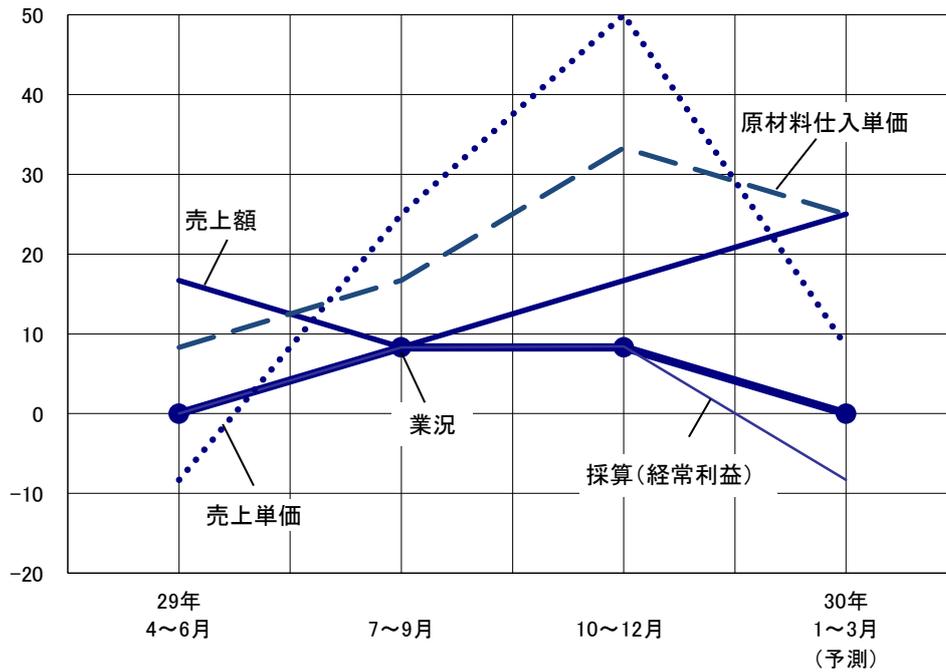
## 来期の見通し

来期は、業況は好調感が大きく弱まり、売上額は増加がかなり強まり、採算（経常利益）は大きく水面下に落ち込むと予測されている。売上単価は上昇が極端に弱まり、原材料仕入単価は上昇幅が大きく縮小すると見込まれる。

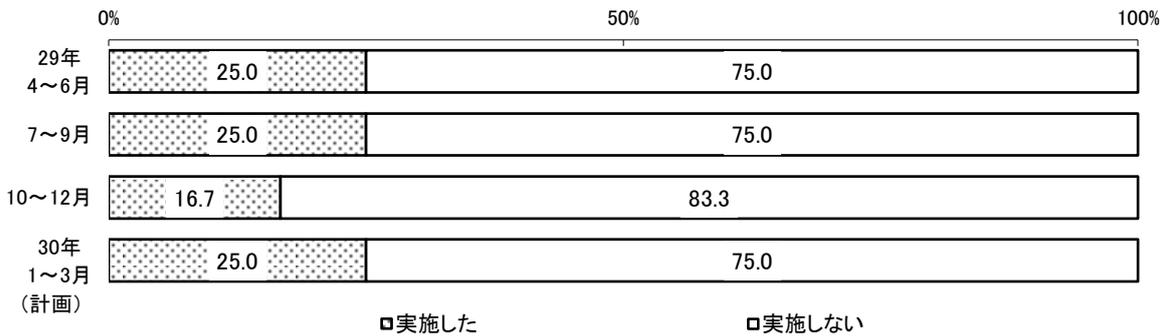
### 《注》

- ◆農業各D I 値の今期の状況は下記を参照している。  
業況D I、売上額D I、採算（経常利益）D I、  
売上単価D I、原材料仕入単価D I、資金繰りD I  
：前年同期比  
借入難度D I（長期資金借入難度、短期資金借入難度）  
：前期比
- ◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種D I を比較している。

## 業況と売上額、採算（経常利益）、売上単価、原材料仕入単価の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向（％）



## 経営上の問題点（％）

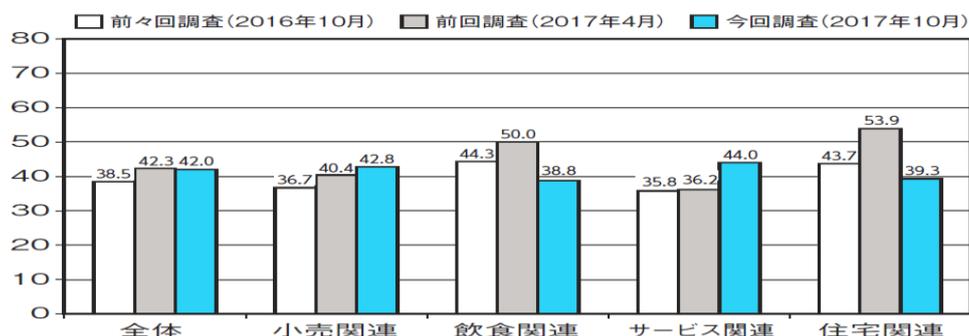
順位	問題点	29年4～6月期		29年7～9月期		29年10～12月期		うち最も重要視している割合
		全体	うち最も重要視している割合	全体	うち最も重要視している割合	全体	うち最も重要視している割合	
第1位	消費者ニーズの変化への対応	50.0 %	50.0 %	50.0 %	45.5 %	50.0 %	20.0 %	20.0 %
						50.0 %	20.0 %	
						50.0 %	10.0 %	
第2位	生産設備の不足・老朽化 人件費の増加	30.0 %	10.0 %	40.0 %	9.1 %	40.0 %	20.0 %	20.0 %
		30.0 %	10.0 %					
第3位	需要の停滞 その他 購買力の他地域への流出 原材料費・人件費以外の経費の増加	20.0 %	20.0 %	30.0 %	0.0 %	20.0 %	20.0 %	20.0 %
		20.0 %	10.0 %			20.0 %	0.0 %	
		20.0 %	0.0 %			20.0 %	0.0 %	
		20.0 %	0.0 %			20.0 %	0.0 %	
第4位	原材料価格の上昇 取引条件の悪化 従業員の確保難	10.0 %	0.0 %	20.0 %	18.2 %	10.0 %	10.0 %	10.0 %
		10.0 %	0.0 %	20.0 %	18.2 %	10.0 %	0.0 %	
		10.0 %	0.0 %	20.0 %	9.1 %			
				20.0 %	0.0 %			
				20.0 %	0.0 %			
第5位	原材料価格の上昇			10.0 %	0.0 %			

## コメント《農業》

1. 米価の変動に左右される（米を主としている為）。経営が大きく補助金の見直しなどにより左右される。
2. 花き類はファッション性が強く、新品種が毎年数多く販売されている。品種により個体差が激しく、当地に合うかどうかは作ってみないと分からない所があり、当たりはずれも多い。タネの単価も年々上昇してきている。
3. 平成 30 年からの農政改革により生産現場の変化がどのようになるか、それを見極め、それに如何に対応していくかが課題である。
4. りんご（ふじ）が台風 21 号、22 号の被害で平年より 3 割減の予想。
5. 法人化の是非についての判断がつかかねている。
6. 米の単価は少し上がったが、天候による収量の減少が大きかった。近年天候不良が続くので、それに対応できる方法を考えなくてはならないが、なかなか難しい。
7. 昨年思い切って従業員を整理したことで経費削減に努めた。田んぼの面積を増やし売上額も安定している。これから新しい分野にも手を広げ、売上増加を見込み、安定した経営を行い、従業員の雇用も考えていきたい。

## 参考資料

### (1) Fukushima景気ウォッチャー調査



出典：(一財) とうほう地域総合研究所

### (2) 福島県商工会連合会との比較

#### ① 製造業

本調査結果は全ての項目でプラスとなり、福島県商工会連合会との比較では「売上高」「採算」で30ポイント以上上回った。

項目	福島県商工会連合会	本調査結果(7-9月期※)	福島県商工会連合会との 対比
	実績	実績	
売上高	▲ 4.1	27.3	31.4
採算	▲ 12.2	18.2	30.4
資金繰り	▲ 10.4	0.0	10.4

#### ② 建設業

本調査結果は「資金繰り」でプラスとなり、福島県商工会連合会との比較では、10ポイント以上上回った。一方「売上高」「採算」ではマイナスとなったが、同じく10ポイント以上上回った。

項目	福島県商工会連合会	本調査結果(7-9月期※)	福島県商工会連合会との 対比
	実績	実績	
売上高	▲ 22.3	▲ 8.3	14.0
採算	▲ 22.2	▲ 8.4	13.8
資金繰り	▲ 5.7	9.1	14.8

#### ③ 小売業

本調査結果は全ての項目でマイナスとなり、福島県商工会連合会との比較では、全ての項目で下回った。特に「採算」「資金繰り」では10ポイント以上下回った。

項目	福島県商工会連合会	本調査結果(7-9月期※)	福島県商工会連合会との 対比
	実績	実績	
売上高	▲ 49.9	▲ 58.4	▲ 8.5
採算	▲ 33.9	▲ 50.0	▲ 16.1
資金繰り	▲ 26.6	▲ 50.0	▲ 23.4

#### ④ サービス業

本調査結果は「売上高」「採算」でマイナスとなった。福島県商工会連合会との比較では、「採算」「資金繰り」で10ポイント以上上回った。

項目	福島県商工会連合会	本調査結果(7-9月期※)	福島県商工会連合会との 対比
	実績	実績	
売上高	▲ 35.5	▲ 50.0	▲ 14.5
採算	▲ 29.5	▲ 10.0	19.5
資金繰り	▲ 15.0	10.0	25.0

※福島県商工会連合会の更新時期と合わせるため、本調査結果は7-9月期を掲載しております。

## I 今期の状況

項目	調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	29年 10~12月期	対 前期比
今 期 の 水 準	業況(自社)	27.3	18.2	0.0	-18.2
	生産に対する原材料在庫	0.0	-10.0	0.0	10.0
	売上に対する製品在庫	10.0	-10.0	-9.1	0.9
	採算(経常利益)	54.5	63.6	36.4	-27.2
	引合い	27.3	36.4	-9.1	-45.5
	生産設備	-9.1	-9.1	-18.2	-9.1
	従業員(含臨時・パート)	-50.0	-30.0	-18.2	11.8
前 年 同 期 比	売上(加工)額	18.2	27.3	-18.1	-45.4
	売上(加工)単価	0.0	0.0	9.1	9.1
	売上(加工)数量	27.3	36.4	-9.1	-45.5
	資金繰り	0.0	0.0	9.1	9.1
	輸出額	0.0	0.0	0.0	0.0
	原材料仕入単価	50.0	40.0	40.0	0.0
	原材料在庫数量	20.0	20.0	30.0	10.0
	製品在庫数量	18.2	18.2	11.1	-7.1
	採算(経常利益)	18.2	18.2	-9.1	-27.3
	従業員(含臨時・パート)	20.0	33.3	11.1	-22.2
	外部人材(請負・派遣)	0.0	0.0	25.0	25.0
	設備操業率	30.0	40.0	18.2	-21.8
	引合い	60.0	44.4	9.1	-35.3
受注残	10.0	25.0	18.2	-6.8	
業況(自社)	27.3	50.0	36.4	-13.6	
前 期 比	売上(加工)額	36.4	36.4	-27.3	-63.7
	売上(加工)単価	18.2	10.0	18.2	8.2
	売上(加工)数量	36.4	27.3	-9.1	-36.4
	資金繰り	-9.1	20.0	0.0	-20.0
	業況(自社)	11.1	25.0	36.4	11.4
	受取手形期間	0.0	0.0	25.0	25.0
	長期資金借入難度	0.0	-16.7	25.0	41.7
	短期資金借入難度(含手形割引)	14.3	0.0	25.0	25.0
	借入金利	0.0	0.0	14.3	14.3

## II 来期の見通し

前 年 同 期 比	売上(加工)額	0.0	18.2	-9.1	
	売上(加工)単価	-9.1	27.3	9.1	
	売上(加工)数量	0.0	27.3	-9.1	
	資金繰り	-9.1	0.0	0.0	
	輸出額	0.0	0.0	0.0	
	原材料仕入単価	20.0	40.0	40.0	
	原材料在庫数量	20.0	20.0	20.0	
	製品在庫数量	9.1	27.3	-11.1	
	採算(経常利益)	-9.1	18.2	-45.4	
	従業員(含臨時・パート)	0.0	11.1	11.1	
	外部人材(請負・派遣)	0.0	0.0	0.0	
	設備操業率	30.0	30.0	0.0	
	業況(自社)	9.1	36.4	-9.1	
今 期 比	業況(自社)	44.4	27.3	0.0	
	受取手形期間	0.0	0.0	20.0	
	長期資金借入難度	0.0	28.6	28.6	
	短期資金借入難度(含手形割引)	0.0	16.7	14.3	
	借入金利	0.0	0.0	0.0	
有効回答事業所数		11	11	11	

製造業

企業景況調査 転記表 NO. 2

地域名:会津坂下町

平成29年10~12月期 2/2

中分類:業種合計

調査期		29年		29年		29年		対	30年
項目		4~6月期		7~9月期		10~12月期		前期比	1~3月期 (予測)
設備投資動向 (%)	実施した	9.1	18.2	27.3	20.0	18.2	1.8	30.0	
	土地	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	
	工場建物	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0		0.0	
	生産設備	0.0	100.0	66.7	100.0	50.0		66.7	
	車両・運搬具	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0		33.3	
	付帯施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	OA機器	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0		0.0	
	福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	その他	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0		33.3	
	実施しない	90.9	81.8	72.7	80.0	81.8		70.0	
経営上の問題点 (1位) (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0	0.0				
	新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	0.0				
	製品ニーズの変化への対応	27.3	20.0	10.0					
	生産設備の不足・老朽化	18.2	20.0	10.0					
	生産設備の過剰	0.0	0.0	0.0					
	原材料価格の上昇	0.0	20.0	20.0					
	原材料の不足	9.1	0.0	0.0					
	人件費の増加	18.2	10.0	20.0					
	原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	10.0	10.0					
	製品(加工)単価の低下・上昇難	18.2	10.0	0.0					
	金利負担の増加	0.0	0.0	0.0					
	取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0					
	事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0					
	従業員の確保難	0.0	0.0	20.0					
熟練技術者の確保難	0.0	0.0	0.0						
需要の停滞	9.1	10.0	0.0						
その他	0.0	0.0	10.0						
特に問題はない	0.0	0.0	0.0						
経営上の問題点 (3位まで) (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0					
	新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0					
	製品ニーズの変化への対応	45.5	36.4	40.0					
	生産設備の不足・老朽化	45.5	36.4	30.0					
	生産設備の過剰	0.0	0.0	0.0					
	原材料価格の上昇	45.5	36.4	40.0					
	原材料の不足	9.1	0.0	0.0					
	人件費の増加	18.2	27.3	30.0					
	原材料費・人件費以外の経費の増加	18.2	36.4	30.0					
	製品(加工)単価の低下・上昇難	45.5	36.4	30.0					
	金利負担の増加	0.0	0.0	0.0					
	取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0					
	事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0					
	従業員の確保難	18.2	36.4	40.0					
熟練技術者の確保難	0.0	0.0	0.0						
需要の停滞	18.2	9.1	40.0						
その他	0.0	18.2	10.0						
特に問題はない	0.0	0.0	0.0						
有効回答事業所数		11	11	11					

小売業  
 地域名:会津坂下町  
 中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 1

平成29年10~12月期 1/2

I 今期の状況

項目	調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	29年 10~12月期	対 前期比
今期の水準	業況(自社)	-66.7	-58.4	-27.3	31.1
	売上に対する商品在庫	33.4	25.0	27.3	2.3
	採算(経常利益)	-41.7	-41.7	-63.6	-21.9
	従業員(含臨時・パート)	-30.0	-25.0	-30.0	-5.0
前年同期比	売上額	-91.7	-58.4	-54.5	3.9
	客単価	-66.7	-50.0	-63.6	-13.6
	客数	-75.0	-50.0	-63.6	-13.6
	資金繰り	-66.7	-50.0	-36.4	13.6
	商品仕入単価	50.0	25.0	45.4	20.4
	商品仕入額	-8.3	-16.7	-9.1	7.6
	商品在庫数量	-33.3	-41.7	-18.2	23.5
	採算(経常利益)	-66.7	-50.0	-45.4	4.6
	従業員(含臨時・パート)	-40.0	-8.3	-10.0	-1.7
	外部人材(請負・派遣)	-20.0	-12.5	0.0	12.5
業況(自社)	-58.3	-58.3	-45.4	12.9	
前期比	売上額	-41.6	-25.0	-27.2	-2.2
	客単価	-50.0	-25.0	-27.3	-2.3
	客数	-58.3	-25.0	-45.4	-20.4
	資金繰り	-41.7	-41.7	-36.4	5.3
	業況(自社)	-41.7	-40.0	-36.4	3.6
	長期資金借入難度	-27.3	-27.3	-45.5	-18.2
	短期資金借入難度(含手形割引)	-33.3	-33.3	-30.0	3.3
	借入金利	-9.1	0.0	9.1	9.1

II 来期の見通し

前年同期比	売上額	-50.0	-50.0	-18.2	
	客単価	-58.3	-58.3	-27.3	
	客数	-83.3	-58.3	-36.3	
	資金繰り	-58.3	-58.3	-36.4	
	商品仕入単価	33.4	33.4	63.6	
	商品仕入額	-8.3	0.0	0.0	
	商品在庫数量	-25.0	-33.3	-27.3	
	採算(経常利益)	-41.7	-58.3	-27.3	
	従業員(含臨時・パート)	-20.0	-16.7	0.0	
	外部人材(請負・派遣)	-16.7	-12.5	0.0	
業況(自社)	-36.4	-36.4	-30.0		
今期比	業況(自社)	0.0	-50.0	-55.6	
	長期資金借入難度	-36.4	-45.4	-45.5	
	短期資金借入難度(含手形割引)	-44.4	-33.3	-30.0	
	借入金利	-9.1	0.0	9.1	
有効回答事業所数		12	12	12	

小売業

地域名:会津坂下町

中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 2

平成29年10~12月期 2/2

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	29年		29年		29年		対 前期比	30年 1~3月期 (予測)
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	10~12月期	10~12月期	10~12月期		
設備投資動向(%)	実施した	16.7	9.1	9.1	22.2	25.0	13.1	20.0	
	土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	店舗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	販売設備	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3		0.0	
	車両・運搬具	100.0	100.0	0.0	100.0	33.3		0.0	
	付帯施設	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3		0.0	
	OA機器	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		100.0	
	福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	その他	0.0	0.0	100.0	0.0	66.7		0.0	
実施しない	83.3	90.9	90.9	77.8	75.0		80.0		
経営上の問題点(1位)(%)	大型店・中型店の進出による競争の激化	25.0	25.0		27.3				
	同業店の進出	0.0	0.0		0.0				
	購買力の他地域への流出	25.0	25.0		18.2				
	消費者ニーズの変化への対応	0.0	0.0		9.1				
	店舗の狭隘・老朽化	0.0	0.0		0.0				
	駐車場の確保難	0.0	0.0		0.0				
	商品在庫の過剰	8.3	0.0		0.0				
	人件費の増加	0.0	0.0		0.0				
	人件費以外の経費の増加	0.0	0.0		0.0				
	販売単価の低下・上昇難	0.0	8.3		18.2				
	仕入単価の上昇	8.3	25.0		0.0				
	金利負担の増加	0.0	0.0		0.0				
	代金回収の悪化	0.0	0.0		0.0				
	事業資金の借入難	0.0	8.3		9.1				
	従業員の確保難	8.3	8.3		0.0				
需要の停滞	16.7	0.0		18.2					
その他	8.3	0.0		0.0					
特に問題はない	0.0	0.0		0.0					
経営上の問題点(3位まで)(%)	大型店・中型店の進出による競争の激化	33.3	54.5		45.5				
	同業店の進出	8.3	0.0		0.0				
	購買力の他地域への流出	41.7	54.5		63.6				
	消費者ニーズの変化への対応	16.7	54.5		45.5				
	店舗の狭隘・老朽化	25.0	18.2		18.2				
	駐車場の確保難	0.0	0.0		0.0				
	商品在庫の過剰	8.3	0.0		9.1				
	人件費の増加	16.7	0.0		9.1				
	人件費以外の経費の増加	8.3	0.0		0.0				
	販売単価の低下・上昇難	33.3	27.3		18.2				
	仕入単価の上昇	33.3	36.4		18.2				
	金利負担の増加	0.0	0.0		0.0				
	代金回収の悪化	0.0	0.0		0.0				
	事業資金の借入難	8.3	18.2		9.1				
	従業員の確保難	16.7	18.2		9.1				
需要の停滞	33.3	18.2		36.4					
その他	16.7	9.1		9.1					
特に問題はない	0.0	0.0		0.0					
有効回答事業所数		12	12	12					

建設業  
 地域名:会津坂下町  
 中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 1

平成29年10~12月期 1/2

I 今期の状況

項目	調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	29年 10~12月期	対 前期比
今期の水準	業況(自社)	-8.4	-8.3	0.0	8.3
	採算(経常利益)	25.0	8.3	25.0	16.7
	引合い	-25.0	-9.1	-8.3	0.8
	従業員(含臨時・パート)	-54.5	-54.5	-41.7	12.8
前年同期比	完成(請負工事)額	8.3	-8.3	-18.1	-9.8
	資金繰り	9.1	9.1	18.2	9.1
	受注(新規契約工事)額	8.3	-16.6	-54.5	-37.9
	材料仕入単価	41.7	41.7	75.0	33.3
	採算(経常利益)	-25.0	-8.4	-25.0	-16.6
	従業員(含臨時・パート)	-33.3	-33.3	-16.7	16.6
	外部人材(請負・派遣)	-10.0	0.0	-9.1	-9.1
	引合い	-9.1	9.1	-9.1	-18.2
前期比	契約残(未消化工事高)	9.1	-30.0	-18.2	11.8
	業況(自社)	-9.1	-18.2	-16.7	1.5
	完成(請負工事)額	-27.2	-9.1	-18.1	-9.0
	資金繰り	0.0	0.0	18.2	18.2
	業況(自社)	-11.1	0.0	-11.1	-11.1
	受取手形期間	-14.3	0.0	0.0	0.0
	長期資金借入難度	9.1	0.0	20.0	20.0
短期資金借入難度(含手形割引)	9.1	0.0	12.5	12.5	
	借入金利	0.0	-27.3	-20.0	7.3

II 来期の見通し

前年同期比	完成(請負工事)額	-18.2	0.0	-45.4	
	資金繰り	-10.0	0.0	-9.1	
	受注(新規契約工事)額	-27.3	0.0	-54.5	
	材料仕入単価	36.4	45.5	45.5	
	採算(経常利益)	-36.4	-30.0	-27.3	
	従業員(含臨時・パート)	-18.2	-27.3	-9.1	
	外部人材(請負・派遣)	0.0	12.5	-27.3	
今期比	業況(自社)	-10.0	-10.0	-27.3	
	受取手形期間	0.0	14.3	0.0	
	長期資金借入難度	0.0	0.0	10.0	
	短期資金借入難度(含手形割引)	0.0	0.0	0.0	
	借入金利	-10.0	-20.0	-10.0	
有効回答事業所数		12	12	12	

項目	調査期	29年		29年		29年		対 前期比	30年 1~3月期 (予測)
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	10~12月期	10~12月期	10~12月期		
設備投資動向 (%)	実施した	33.3	18.2	16.7	9.1	25.0	-9.1	25.0	
	土地	0.0	0.0	50.0	0.0	33.3		33.3	
	建物	0.0	0.0	50.0	0.0	33.3		33.3	
	建設機械	0.0	50.0	50.0	0.0	33.3		33.3	
	車両・運搬具	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0		33.3	
	付帯施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	OA機器	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3		0.0	
	福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
実施しない	66.7	81.8	83.3	90.9	75.0		75.0		
経営上の問題点 (1位) (%)	大企業の進出による競争の激化	9.1	10.0		9.1				
	新規参入業者の増加	0.0	0.0		0.0				
	材料価格の上昇	0.0	0.0		9.1				
	材料の入手難	0.0	0.0		0.0				
	人件費の増加	0.0	0.0		0.0				
	材料費・人件費以外の経費の増加	9.1	0.0		0.0				
	請負単価の低下・上昇難	18.2	20.0		9.1				
	下請単価の上昇	9.1	10.0		0.0				
	金利負担の増加	0.0	0.0		0.0				
	取引条件の悪化	0.0	0.0		0.0				
	事業資金の借入難	0.0	0.0		0.0				
	従業員の確保難	18.2	30.0		9.1				
	熟練技術者の確保難	0.0	0.0		9.1				
	下請業者の確保難	0.0	0.0		9.1				
官公需要の停滞	36.4	30.0		27.3					
民間需要の停滞	0.0	0.0		18.2					
その他	0.0	0.0		0.0					
特に問題はない	8.3	16.7		8.3					
経営上の問題点 (3位まで) (%)	大企業の進出による競争の激化	9.1	10.0		9.1				
	新規参入業者の増加	0.0	0.0		0.0				
	材料価格の上昇	18.2	10.0		27.3				
	材料の入手難	0.0	0.0		0.0				
	人件費の増加	0.0	0.0		9.1				
	材料費・人件費以外の経費の増加	18.2	10.0		9.1				
	請負単価の低下・上昇難	27.3	30.0		18.2				
	下請単価の上昇	9.1	10.0		18.2				
	金利負担の増加	0.0	0.0		0.0				
	取引条件の悪化	9.1	10.0		9.1				
	事業資金の借入難	0.0	0.0		0.0				
	従業員の確保難	63.6	80.0		54.5				
	熟練技術者の確保難	36.4	50.0		36.4				
	下請業者の確保難	27.3	20.0		18.2				
官公需要の停滞	36.4	40.0		45.5					
民間需要の停滞	9.1	10.0		36.4					
その他	0.0	0.0		0.0					
特に問題はない	8.3	16.7		8.3					
有効回答事業所数		12	12	12					

サービス業  
 地域名:会津坂下町  
 中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 1

平成29年10~12月期 1/2

I 今期の状況

項目	調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	29年 10~12月期	対 前期比
今 期 の 水 準	業況(自社)	-25.0	8.3	0.0	-8.3
	採算(経常利益)	25.0	25.0	8.4	-16.6
	従業員(含臨時・パート)	-33.4	-58.3	-36.4	21.9
前 年 同 期 比	売上(収入)額	-10.0	-50.0	-20.0	30.0
	客単価	-10.0	10.0	0.0	-10.0
	利用客数	-20.0	-40.0	10.0	50.0
	資金繰り	0.0	10.0	10.0	0.0
	仕入単価(材料等)	27.3	40.0	80.0	40.0
	採算(経常利益)	-18.2	-10.0	-10.0	0.0
	従業員(含臨時・パート)	-18.2	-9.1	-22.2	-13.1
	外部人材(請負・派遣)	0.0	-20.0	0.0	20.0
	業況(自社)	-9.1	-9.1	10.0	19.1
前 期 比	売上(収入)額	63.6	8.3	-25.0	-33.3
	客単価	-18.2	16.7	-16.7	-33.4
	利用客数	45.4	16.7	-8.3	-25.0
	資金繰り	18.2	33.3	0.0	-33.3
	業況(自社)	40.0	27.3	0.0	-27.3
	長期資金借入難度	22.2	10.0	0.0	-10.0
	短期資金借入難度(含手形割引)	25.0	11.1	0.0	-11.1
	借入金利	0.0	-18.2	-20.0	-1.8

II 来期の見通し

前 年 同 期 比	売上(収入)額	18.1	-9.1	27.3	
	客単価	0.0	36.4	18.2	
	利用客数	18.1	0.0	9.1	
	資金繰り	18.2	18.2	18.2	
	仕入単価(材料等)	18.2	72.7	54.5	
	採算(経常利益)	9.1	0.0	0.0	
	従業員(含臨時・パート)	-9.1	-18.2	-11.1	
	外部人材(請負・派遣)	-12.5	-10.0	-14.3	
今 期 比	業況(自社)	36.4	-11.1	-36.4	
	長期資金借入難度	11.1	22.2	12.5	
	短期資金借入難度(含手形割引)	12.5	12.5	12.5	
	借入金利	-20.0	9.1	12.5	
有効回答事業所数		12	12	12	

調査期		29年		29年		29年		対	30年
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		前期比	1～3月期 (予測)
設備 投資 動向 (%)	実施した	41.7		50.0	33.3	8.3	41.7	-41.7	16.7
	土地	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	建物	20.0		0.0	0.0	0.0	20.0		100.0
	サービス設備	20.0		16.7	25.0	0.0	20.0		0.0
	車両・運搬具	40.0		33.3	25.0	0.0	20.0		0.0
	付帯施設	20.0		0.0	25.0	100.0	20.0		0.0
	OA機器	0.0		0.0	25.0	0.0	0.0		0.0
	福利厚生施設	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	その他	20.0		50.0	25.0	0.0	20.0		0.0
	実施しない	58.3		50.0	66.7	91.7	58.3		83.3
経営 上の 問題 点 (1位) (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0		0.0		12.5			
	新規参入業者の増加	0.0		0.0		0.0			
	利用者ニーズの変化への対応	22.2		11.1		25.0			
	店舗の狭隘・老朽化	22.2		11.1		12.5			
	人件費の増加	22.2		0.0		0.0			
	人件費以外の経費の増加	0.0		0.0		0.0			
	利用料金の低下・上昇難	0.0		0.0		0.0			
	材料等仕入単価の上昇	0.0		33.3		25.0			
	金利負担の増加	0.0		0.0		0.0			
	事業資金の借入難	0.0		0.0		0.0			
	従業員の確保難	11.1		22.2		12.5			
	熟練従業員の確保難	22.2		11.1		12.5			
	需要の停滞	0.0		11.1		0.0			
その他	0.0		0.0		0.0				
特に問題はない	8.3		8.3		16.7				
経営 上の 問題 点 (3位) まで (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0		0.0		11.1			
	新規参入業者の増加	11.1		11.1		11.1			
	利用者ニーズの変化への対応	44.4		44.4		44.4			
	店舗の狭隘・老朽化	44.4		44.4		55.6			
	人件費の増加	22.2		11.1		0.0			
	人件費以外の経費の増加	0.0		0.0		22.2			
	利用料金の低下・上昇難	0.0		0.0		0.0			
	材料等仕入単価の上昇	22.2		44.4		55.6			
	金利負担の増加	0.0		0.0		0.0			
	事業資金の借入難	0.0		0.0		0.0			
	従業員の確保難	55.6		55.6		44.4			
	熟練従業員の確保難	22.2		22.2		22.2			
	需要の停滞	11.1		22.2		22.2			
その他	0.0		0.0		0.0				
特に問題はない	8.3		8.3		16.7				
有効回答事業所数		12		12		12			

農業

企業景況調査 転記表 NO. 1

地域名:会津坂下町

平成29年10~12月期 1/2

中分類:業種合計

I 今期の状況

項目	調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	29年 10~12月期	対 前期比
今 期 の 水 準	業況(自社)	0.0	16.6	8.4	-8.2
	採算(経常利益)	8.3	33.3	0.0	-33.3
	従業員(含臨時・パート)	-8.3	-8.3	9.1	17.4
前 年 同 期 比	売上額	16.7	8.3	16.7	8.4
	売上単価	-8.3	25.0	50.0	25.0
	資金繰り	0.0	-8.4	8.3	16.7
	原材料仕入単価	8.3	16.7	33.3	16.6
	採算(経常利益)	0.0	8.3	8.4	0.1
	従業員(含臨時・パート)	8.3	8.4	18.2	9.8
	外部人材(請負・派遣)	16.7	0.0	0.0	0.0
	業況(自社)	0.0	8.3	8.3	0.0
前 期 比	長期資金借入難度	9.1	0.0	-27.3	-27.3
	短期資金借入難度(含手形割引)	0.0	0.0	-20.0	-20.0
	借入金利	0.0	0.0	0.0	0.0

II 来期の見通し

前 年 同 期 比	売上額	16.6	33.4	25.0	
	売上単価	8.4	41.7	8.4	
	資金繰り	16.7	8.4	0.0	
	原材料仕入単価	8.3	16.7	25.0	
	採算(経常利益)	16.7	33.4	-8.3	
	従業員(含臨時・パート)	-8.4	16.7	9.1	
	外部人材(請負・派遣)	0.0	0.0	0.0	
	業況(自社)	18.2	33.4	0.0	
今 期 比	業況(自社)	-22.2	27.3	-18.2	
	長期資金借入難度	0.0	0.0	-10.0	
	短期資金借入難度(含手形割引)	0.0	0.0	0.0	
	借入金利	0.0	0.0	0.0	
有効回答事業所数	12	12	12		

農業

企業景況調査 転記表 NO. 2

地域名:会津坂下町

平成29年10~12月期 2/2

中分類:業種合計

調査期		29年		29年		29年		対	30年
項目		4~6月期		7~9月期		10~12月期		前期比	1~3月期 (予測)
設備投資動向 (%)	実施した	25.0		25.0	36.4	16.7	16.7	-8.3	25.0
	土地	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	工場建物	0.0		33.3	25.0	0.0	0.0		0.0
	生産設備	33.3		66.7	50.0	50.0	0.0		33.3
	車両・運搬具	66.7		33.3	50.0	50.0	0.0		33.3
	付帯施設	33.3		0.0	0.0	50.0	50.0		0.0
	OA機器	0.0		0.0	0.0	0.0	50.0		33.3
	福利厚生施設	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	その他	0.0		33.3	25.0	0.0	0.0		33.3
	実施しない	75.0		75.0	63.6	83.3	83.3		75.0
経営上の問題点 (1位) (%)	購買力の他地域への流出	0.0		0.0		10.0			
	新規参入業者の増加	0.0		0.0		0.0			
	消費者ニーズの変化への対応	50.0		45.5		20.0			
	生産設備の不足・老朽化	10.0		9.1		20.0			
	生産設備の過剰	0.0		0.0		0.0			
	原材料価格の上昇	0.0		0.0		20.0			
	原材料の不足	0.0		0.0		0.0			
	人件費の増加	10.0		0.0		10.0			
	原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0		9.1		0.0			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0			
	金利負担の増加	0.0		0.0		0.0			
	取引条件の悪化	0.0		0.0		0.0			
	事業資金の借入難	0.0		0.0		0.0			
	従業員の確保難	0.0		0.0		0.0			
需要の停滞	20.0		18.2		0.0				
その他	10.0		18.2		20.0				
特に問題はない	8.3		8.3		0.0				
経営上の問題点 (3位まで) (%)	購買力の他地域への流出	20.0		20.0		10.0			
	新規参入業者の増加	0.0		0.0		0.0			
	消費者ニーズの変化への対応	50.0		50.0		50.0			
	生産設備の不足・老朽化	30.0		40.0		50.0			
	生産設備の過剰	0.0		0.0		0.0			
	原材料価格の上昇	10.0		10.0		20.0			
	原材料の不足	0.0		0.0		0.0			
	人件費の増加	30.0		30.0		50.0			
	原材料費・人件費以外の経費の増加	20.0		20.0		20.0			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0			
	金利負担の増加	0.0		0.0		0.0			
	取引条件の悪化	10.0		0.0		0.0			
	事業資金の借入難	0.0		0.0		0.0			
	従業員の確保難	10.0		20.0		10.0			
需要の停滞	20.0		20.0		20.0				
その他	20.0		20.0		40.0				
特に問題はない	8.3		8.3		0.0				
有効回答事業所数		12		12		12			

## 調査の概要

1. 調査時期 平成 29 年 10 月～12 月
2. 調査方法 郵送アンケート調査および電話調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	12	11
小 売 業	12	12
建 設 業	12	12
サービス業	12	12
農 業	12	12
合 計	60	59

会津坂下町商工会  
〒969-6553 福島県河沼郡会津坂下町西南字裏甲 4005-13  
TEL 0242-83-3139